

ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信



市民の声を、私たちが市政へ届けます

後藤ゆう子

かとう涼子

取り返しのつかないミス —— 42,000人の介護保険料を誤徴収

「多大なるご迷惑をおかけし、信頼を著しく損ねる結果となった。深くお詫び申し上げます。」丸山市長の謝罪からはじまった、異例の9月議会。健康福祉部と教育部で不適切な事務執行が相次いで発覚。とりわけ介護保険料の誤徴収は、約42,000人の市民に追加徴収や還付の手続きを求める事態に——。なぜミスが起きたのか、今後の対応をどうするのか、厳しい質疑が交わされました。

◎市民にこれ以上の不利益があってはならない

今回の誤徴収が介護保険の特別徴収で起きたことを、生活者ネットは問題視しています。「年金からの天引きが苦しい」と感じる高齢者がとても多いからです。介護保険料は制度開始時の約2倍。それを生活の糧である年金から有無を言わず天引きするのが特別徴収です。市民感情を考えれば、「徴収ミスをしたので追加納付してください」などと簡単に言えないことを指摘しました。

事後処理にかかる費用883万7千円をどうするかも大きな争点となりました。「後処理に市民の税金を投入するのは、筋が通らないのではないかと」厳しく迫り、「市民に一切の責めは無い。すべては市の責任。責任の取り方をしっかりと示したい」と副市長が答弁しました。

介護保険料を滞納すると、通常は延滞金やサービスの利用制限などのペナルティが課されます。追加徴収の手続きが困難な高齢者に、新たな不利益が生じることをないよう念押しし、「厚労省と協議を進める」との部長答弁を受けました。

◎自分の言葉で語らない丸山市長

残念だったのは、丸山市長の対応です。厳しい質疑への対応は執行部に丸投げ、市長は行政が準備した答弁書を読み上げるばかりでした。行政のトップとして、自らの言葉で市民への説明責任を果たすべきでした。

市長の任期は残り4カ月、来年2月は市長選です。「事案解決のため、先頭になり汗をかいてまいります」との言葉がどのように実行されるのかを注視していきます。

還付もしくは追加徴収の必要な方には、市役所から書類が郵送されます。ご不明な点は市の専用ダイヤルへ。なお、市内では還付金詐欺が発生しています。くれぐれもご注意ください！

専用ダイヤル ▶ ☎042-420-2867 (平日8時30分～17時)

コロナ感染拡大期に向け、PCR検査件数のさらなる拡充を!

近隣市に比べて感染者数の多い西東京市。市内の施設でも感染者が相次いでいますが、保健所が濃厚接触者を特定し、検査結果が判るまでに時間がかかりすぎるとの指摘が。「これでは家庭内感染が防げない」という市民の訴えは深刻です。たとえ症状がなくても、必要と感じた時にすぐ検査を受けられる体制づくりは急務の課題。市は地方創生交付金を活用し、PCR検査件数の拡充を進めるべきです！

生活者ネットが賛成した「新型コロナ防疫に関する陳情」は自民、公明、立憲の反対により否決されました。